

- ・ご使用上の注意
- ・効率的なご使用開始の手順

油吸着材エコツリーは、グリストラップの油回収に最も適した資材ですが、エコツリーを単にグリストラップに投入するだけで良いというものではありません。

下記の内容をご確認のうえ、ご使用頂くことをお奨めいたします。

ご使用上の注意

エコツリーネット入り1個で約1kgの油を吸着しますが、大量の油が溜まった状態にエコツリーを投入しても、アツという間に吸着限界に達して効果ははっきりしなかったり、油の層に沈んで見えなくなってしまう場合があります。また、ゴミやアク、固形化した油（ラードなど）が表面を覆った状態のグリストラップにエコツリーを投入しても“液状の油”ではないものは吸着しませんので、「まったく吸着しない」と思われるかもしれません。

エコツリーが吸着するもの

- ・液状の油（動物系・植物系・鉱物系）

エコツリーが吸着しないもの

- ・水
- ・ゴミ
- ・アク（白い泡状のもの。小麦粉や米を多く使用する業態に特に多い（洗剤の泡ではない））
- ・冷えて固形化した油（ラード）

効率的なご使用開始の手順

現場のグリストラップでエコツリーの性能と使用量をご確認頂くための方法をご紹介します。

- ① 自社または業者によるグリストラップの清掃の実施（業者清掃する予定があればその直後）
（残渣カゴのゴミ、浮上油、底の汚泥がまったく無い状態で、出来れば槽内各部の汚れも落とした状態）
- ② 通常の1日の営業（作業）してグリストラップに溜まった油をエコツリーで回収。（1日分の油量の確認）
エコツリーのネットを破って少量ずつ浮上油に撒いて吸着させて回収します。
ここで確認するのは、エコツリーの使用量です。
「どのくらいの量のエコツリーを使って1日分の油が回収できたか？」を確認してください。
ネット入りの1/3なのか？ 半分なのか？ 1個なのか？

- ・1日分であれば少量の油なので、エコツリーが油を吸着する性能を確認して頂けます。
- ・軽作業で浮上油を回収出来るオペレーションを実感して頂けます。
- ・油と生ゴミの量に応じて回収頻度（清掃間隔）をご検討下さい。
- ・1日当たりの使用量が把握できますので、月や年間のランニングコストの目安が出来ます。

注意！

1日分の油量がエコツリー2個を超えるようであれば、調理作業の見直しや油を流さないオペレーション改善が必要と判断してください。

例1）揚げカスの廃棄にあたり発火の恐れがあるので水道水で冷却している → 油が大量に流れ込む原因

改善例：揚げカスを絞って搾油して可燃ごみで廃棄すれば発火の危険を解消。（搾油機の仕様）

例2）食器や調理器具に付いた油をキッチンペーパーやゴムベラなどで極力取り除いてから洗浄する。

例3）ウォーターフライヤーのメンテナンス時に油を流し出している量が多い。

グリストラップは日々の“管理”が必要です。

重要な管理項目（手順）は、“油”と“生ごみ”を回収することで、これらの回収後に“清掃（洗浄）”という項目（手順）があると認識してください。（決してトイレ同様に闇雲にキレイにすれば良いものではありません）

ご使用後のエコツリーの処理について

各自治体の事業系廃棄物の分別に準じますので油を吸ったエコツリーは基本的には産業廃棄物です。

ただ、毎日の少量であれば可燃ごみに混ぜても処理してもらえ自治体も多いですが、1週間や1ヵ月のまとまった量になると、回収業者や処分場では受け入れてもらえないため産業廃棄物として適切な処理が必要になります。

詳細は、各自治体の担当窓口にて具体的に方法や量を説明して確認してください。